

「開山忌の因みに」

毎年六月一九日 種月寺御開山忌 嚴修

開山南英謙宗禪師（一三八七〜一四五九）は長祿三年五月一九日示寂。現在は一ヶ月遅れの六月一九日を開山忌として丁寧に報恩の大法要を勤める。

今年567回忌 住職として初めての導師を勤める。

道元禪師は「回光返照の退歩を学がくすべし」とお示しです。

歩みを止め、息を調え、二歩も三歩も退いて、自らが行いを仏道に照らし謙虚に顧みよ、と説いておられます。

「布教教化に関する告諭」より

「仏道をならふといふは、自己をならふなり。自己をならふといふは、自己をわするなり。自己をわするといふは、万法に証せらるるなり。万法に証せらるるといふは、自己の身心および他己の身心をして脱落せしむるなり。」

『正法眼蔵』 「現成公案（げんじょうこうあん）」巻

令和七年六月二十四日

加茂法話会

寒河江文洋